Japanese Academy of Social Design Studies for 21st Century

vol.2

21世紀社会デザイン研究学会ニュース

21世紀社会デザイン研究学会ニュース第2号
2007年6月14日発行
■発行人　北山晴一　■編集人　笠原清志
■発行所　21世紀社会デザイン研究学会

■連絡先　〒171-8501東京都豊島区西池袋3-34-1
立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科委員長室 気付　21世紀社会デザイン研究学会事務局
E-mail：info@socialdesign-academy.org　URL：http://www.socialdesign-academy.org/
■デザイン　増田幸右　■印刷　㈱文栄社

第2回年次大会開催によせて

21世紀社会デザイン研究学会
事務局長　笠原　清志
（大会実行委員長）

21世紀の社会デザインをめざし、さまざまな知を統合すべく当学会が設立され、2年目を迎えました。当学会は、コミュニティデザイン分野、CSR(企業の社会的責任)分野、国際協力･平和構築･共生学分野、非営利活動分野、危機管理分野、都市防災分野、そして文化･芸術組織分野の7分野から構成されています。

今日の社会の課題は、複雑かつ多様化しているだけでなく、グローバルな視点からも考察されなければ何も明らかに出来なくなっています。その意味において、各分野で形成されつつある膨大な知的蓄積を領域横断的な知のネットワークに組み込んでいくことが特に求められていると思います。多様な知を新しい知へと転換するには、知の創造のための“場”が必要です。当学会がそのような新しい知を創造する“場”として、しかるべき役割を果たせたらと思っています。

第2回年次大会は、統一論題として「CSR(企業の社会的責任)と社会デザイン」というテーマで開催されることになりました。日本では、CSRがコンプライアンス(法令順守)や環境問題を中心に議論が展開されていますが、ヨーロッパでは広範な社会･人権問題との関係で議論されています。第2回全国大会がCSRをめぐって企業とNPO･NGOとの“対話の場”を提供でき、新しい社会をデザインする可能性を提示できたらと思っています。

また、今年は12月1日(土)と2日(日)の開催が可能になったこともあり、自由論題で多くの会員が報告していただけたらと思います。院生セッションも検討しておりますので、若手の会員の方も積極的な応募のほどお願いします。

研究学会役員からのメッセージ

アートは何の役に立つか
～メセナを通した社会デザイン～

横浜市芸術文化振興財団専務理事
加藤　種男

教育の荒廃、地球環境の危機、価値の不確定な時代などなど。何に頼っていいかわからなくなって、人々が陥るのが断定の世界である。待望される独善政治家や新興宗教家に共通なのは、大きな声で断言することである。解決不能な課題を語る人々の声は小さい。そのかすかな声にも、耳を傾け、解決不能なまま、共振を形にするのがアーティストの仕事だ。アートは断定しない。アートは、厄介な世界を前にして震えているだけである。そんなアートがなんの役に立つだろう。本当は、功利的な何の役にも立たないことで、アートは人の心を動かすことがある。結果として、学校や老人ホームで、アートが人々の自己表現の糸口を提供することがある。経済以外の価値を価値と思わないで、その経済ですら投機だけが価値を生み出すと思わないで、世界にはじつに多様な価値に満ちていることを、だれかが小さな声ででも語り続ける必要がある。その声に共感し、仕組みを作り出すのが、アートをめぐる我々の仕事である。

CSR as Social Design

立教大学教授
スコット･デイヴィス

If social innovation can be equated with the alleviation of inequality and the enhancement of the standard of living, then the CSR initiatives of only a few corporations can be said to be contributing on a level of social design. As the competitive advantage in many industries shifts from leadership in price and quality to one of defining the optimal fit between economic and lifestyle value, and thereby creating new markets, social innovation has become an integral, strategic dimension of business. A “strong” corporation must now, therefore, also be an agent of social change. However, passive and reactive CSR initiatives, predicated upon the identification of multiple and diverse stakeholders, are increasingly incapable of appreciating the implications of this shift. The spread of consumers who choose products based upon an evaluation of a corporation’s treatment of workers, workers who choose jobs upon the meaning of a corporation for the community, and communities that evaluate (choose) corporations upon their supply chain stewardship, signify an integration of their own stakeholder identities. Corporations must reintegrate their artificially fragmented definitions of their stakeholders if they are to influence 0their social contexts･their markets･by first identifying themselves as proactive agents of social design.

いのちの現場から社会デザインを考える

跡見学園女子大学　マネジメント学部教授
吉村　英子

継続審議となっている臓器移植法改正2法案について、自民党は今国会での衆院通過を目指しているようです。一つは、本人が拒否しない限り家族の同意があれば脳死判定による臓器提供を可能にしようというもの(あるいは脳死を人の死としないで移植用臓器の摘出を認めるもの)、二つめは現行法のまま臓器提供できる年齢を15才以上から12才以上に引き下げようというものです。現行の臓器移植法は1997年10月から施行され、2006年12月までの9年間で脳死判定による臓器提供者は50人と、アメリカなど脳死による臓器提供を可としている国の件数に比較すると極端に少ないのです。現行の臓器移植法は、2つの死の定義をしています。即ち臓器提供する場合には脳死を死としますが、臓器提供しない場合は従来通り心臓死をもって死としています。様々な生き方があるように、死の受け止め方にもいろいろあります。本人の承諾が確認できた場合だけの臓器提供ではなぜいけないのでしょうか。個人が自律し多様な価値観が受容され、なおかつ調和する社会こそ成熟した社会なのではないのでしょうか。

第2回年次大会開催決定
開催日:2007年12月1日(土)、2日(日)

場所: 立教大学池袋キャンパス

統一テーマ:「CSRと社会デザイン」

詳細につきましては、順次学会ホームページ(http://www.socialdesign-academy.org/)に掲載してゆきますので、ご覧下さい。

第2回年次大会　自由論題セッション報告の公募開始

2007年12月1日(土)、2日(日)の2日間、第2回年次大会を開催することになりました。それに伴いまして、自由論題セッション報告の公募を開始します。公募の概要は下記のとおりです。

1. 応募資格

応募時点で21世紀社会デザイン研究学会会員であること。

2. 報告内容

当学会が掲げる以下の７つの研究領域をはじめとする21世紀社会デザイン研究をテーマとするもの。
▼コミュニティデザイン分野 ▼CSR(企業の社会的責任)分野 ▼国際協力・平和構築・共生学分野 ▼非営利活動(NPO、NGO、ボランティア活動)分野 ▼危機管理分野 ▼都市防災分野 ▼文化･芸術組織分野▼その他、21世紀社会デザインに関る分野
なお、報告内容は未発表のものであることを原則とします。

3. 報告日時 2007年12月2日(日)9:00～12:00

質疑応答含め一人約30分の予定です。

4. 応募の締め切り 2007年7月18日(水)必着(締切厳守)

5. 応募書類の提出先

summary@socialdesign-academy.org
提出は、電子メールのみで受付けていますのでご注意下さい。
なお、応募方法の詳細につきましては、http://www.socialdesign-academy.org/　をご覧下さい。

第1回年次大会報告

2006年12月3日(日)立教大学池袋キャンパスにて、100名を超える参加者の中、第1回21世紀社会デザイン研究学会年次大会が開催されました。

午前の部では「CSRと市民の期待」「コミュニティ･デザインの実践と課題」「グローバリゼーションと市民社会組織の役割」「大都市災害への備えとコミュニティ」の4つのテーマ別分科会が行なわれ、それぞれ3名ずつの発表とそれに対するコメンテーターによるコメントがありました。また、午後の部では、北山会長による「挨拶と問題提起」と、「21世紀の社会デザインを考える」というテーマのもとで、室崎益輝氏(総務省消防庁消防大学校消防センター所長)、宮本太郎氏(北海道大学公共政策大学院教授)、藤井威氏(元スウェーデン大使、みずほコーポレート銀行顧問)によるパネルディスカッションが行われました。なお、大会概要報告書は夏までに完成する予定です。

2007年度　第1回理事会･常任理事会報告

【日時】2007年5月19日(土)12:00～13:00
【場所】立教大学池袋キャンパス11号館4階会議室
【出席】[常任理事]北山晴一、上園俊樹、川村仁弘、中村陽一、加藤薫、萩原なつ子　[理事]菊野一雄、伊藤道雄、福田秀人、佐取朗、小林規男、秋山昌廣、齋藤哲男　[監事]伊藤勝教、田川義博　[幹事]澤野次郎、比留間和憲　[事務局]中村圭美

【審議事項】

1. 澤野次郎氏(財)日本法制学会専務理事)を新理事に推薦することが承認された。
2. 法人会員1名、個人会員3名、大学院生会員28名の新規入会が承認された。
3. 第2回総会の議案として提案される①会員の状況、②2006年度事業報告、③2006年度決算、④2007年度予算、⑤役員の構成、⑥2007年度事業計画、⑦2007年度年次大会開催、について承認された。
4. 第2回年次大会の①統一テーマ「CSRと社会デザイン」、②自由論題発表者の公募開始、③大会実行委員会発足について承認された。
5. 跡見学園女子大学大学院マネジメント研究科主催の平成19年度公開講座（秋季教養コース）を後援することが承認された。

2007年度　第1回総会報告

【日時】2007年5月19日(土)16:15～16:45
【場所】立教大学池袋キャンパス7101教室
【審議事項】
次の①～⑦の議案が承認された。①会員の状況、②2006年度事業報告、③2006年度決算、④2007年度予算、⑤役員の構成(新理事に澤野次郎氏)、⑥2007年度事業計画、⑦第2回年次大会開催(立教大学、2007年12月1日(土)、2日(日)、大会実行委員長:笠原清志氏)。なお、総会終了後、立教大学池袋キャンパス5号館地下食堂で懇親会が行われ、歓談した。

総会開催報告

2006年度　第1回総会

日時:2006年12月3日(日)16:30～17:30
場所:立教大学池袋キャンパス太刀川記念会館

2007年度　第1回総会

日時:2007年5月19日(土)16:15～16:45
場所:立教大学池袋キャンパス7101教室

常任理事・理事会開催報告

2006年度　第3回常任理事・理事会

日時:2006年11月11日(土)16:30～17:30
場所:立教大学11号館4階A406会議室

2006年度　第4回常任理事・理事会

日時:2007年1月26日(金)18:30～19:50
場所:立教大学11号館1階A101教室

2006年度　第5回常任理事・理事会

日時:2007年3月30日(金)18:30～20:30
場所:跡見学園女子大学茗荷谷キャンパス
法人棟4階会議室

2007年度　第1回常任理事・理事会

日時:2007年5月19日(土)12:00～13:00
場所:立教大学池袋キャンパス11号館
4階会議室

新幹事紹介

跡見学園女子大学大学院　マネジメント研究科
修士課程2年　児玉　理恵
みなさん、はじめまして。春は出会いが多い季節ですね。この春から「21世紀社会デザイン学会」をとおして沢山の方々と出会い、多くの影響を受けることと大いに期待しております。早く、皆さんとお会いできることを楽しみにしております。よろしくお願い致します。

跡見学園女子大学大学院　マネジメント研究科
修士課程2年　那花　英里
私は大学院で、『なぜ訪日外国人旅行者が少ないのか』という事を研究しており、現在は、『来ないと思われる理由』について、考えられる全ての問題を模索している最中です。幹事の仕事を精一杯頑張り、学会を盛り上げていきたいと思いますので、よろしくお願い致します。

事務局からのお知らせ

■ホームページをリニューアルし、内容を充実させました。
新URL: http://www.socialdesign-academy.org/
■事務局のEメールアドレスを変更しました。
新Eメールアドレス: info@socialdesign-academy.org